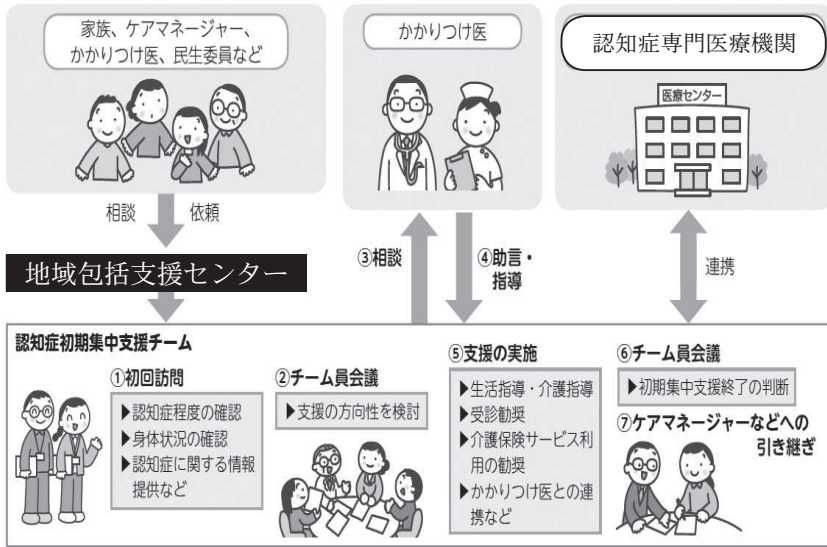


図1 認知症初期集中支援推進事業の流れ



新しい地域支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して
元気に暮らし続けられるまちをめざして

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供

される「地域包括ケアシステム」の強化のために介護保険制度の改正を行いました。

それに伴い、昨年度から町で実施している事業について紹介

◎認知症総合支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、よりよい環境で暮らし続けられるためには、医療や介護、生活支援サービスの連携ネットワークの構築、さらに認知症の早期治療の支援が必要になります。

そのために、この事業では次の2

つについて取組を行っています。

①認知症初期集中支援推進事業（図1）

認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築に取り組んでいます。依頼や情報が地域包括支援センターに入った場合、チーム員が訪問し、その結果に基づき、「認知症初期集中支援チーム会議」で必要な支援を検討していきます。

支援は、医療・介護サービスに十分な引き継ぎを終えるまで（原則最長で6カ月）続けます。

②認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築するために「認知症地域支援相談員」を地域包括支援センターに1名配置しています。相談員は認知症の人やその家族に対し、専門的な相談を受ける役割を持ち、認知症の地域支援を深めるために医療機関や介護サービス事業

者、認知症サポーター等の認知症の人を支援する関係者の連携を図るための取組を行います。

◎在宅医療・介護連携推進事業

介護と医療両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の医療・介護の把握や医療機関と介護事業所等の関係者の連携推進に取り組んでいます。

また、切れ目のない支援の提供体制を構築するために、地域の在宅医療・介護連携の課題を抽出し対応策を検討します。

地域包括支援センターでは随時相談を受け付けています。

◎生活支援体制整備事業

高齢者独居世帯や高齢者のみの夫婦世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、地域で暮らす住民が主体となり、高齢者の生活を地域で支援する体制づくりを目指します。

そのため、町では取組を推進するために「生活支援コーディネーター」を1名配置しています。コーディネーターは地域の会合等に参加させていただき、町民の皆様が感じている積丹町の介護サービス等の不便だと思ふ意見を集め改善を図り、また、町民同士の助け合いの活動を創り高齢者の地域での暮らしの体制づくりを行います。

ご相談は【積丹町地域包括支援センター】まで

- 認知症のこと・・・
- 在宅医療、在宅介護のこと・・・ご相談ください！
- 生活で困っていること・・・

住所：積丹町大字美国町字船淵 48 番地 5（役場住民福祉課内）
TEL 0135-44-3122 FAX 0135-44-2714

第3回町議会臨時会 議会ニュース

平成30年第3回町議会臨時会が4月27日に招集され、同日閉会しました。

そのあらましについてお知らせします。

議案第1号

積丹町税条例等の一部改正について

障害者などの町民税非課税所得要件の引き上げ、たばこ税率の引き上げ、生産性向上特別措置法(案)に基づく中小企業支援のための固定資産税の3年間免除特例制度の創設など。

議案第2号

積丹町国民健康保険税条例の一部改正について

課税限度額が85万円から89万円に引き上げ、5割及び2割軽減対象所得の拡大など。

(議案第1号・議案第2号 いずれも原案可決)

議案第3号

積丹町簡易水道事業給水条例の一部改正について

議案第4号

積丹町集落排水処理施設に関する条例の一部改正について

平成30年度から平成33年度までの3会計年度で段階的に、現行の水道料金と下水道料金の引上げ改定を行うため、兩条例関係条文規定の一部を改正するものです。

(議案第3号・議案第4号 いずれも原案可決)

議案第5号

積丹町一般会計補正予算(第1号)

来岸地区防災避難路整備等事業費や日司生活改善センター・老朽化対策設計費、橋梁長寿命化修繕事業費(日本橋(日司町)・学校橋(余別町)補修工事、下中山橋・草内橋(神岬町)修繕実施設計及び町内29橋の橋梁個別設計計画策定)、船瀬4番線舗装修繕

事業費(実施設計、道路舗装修繕・排水路整備工事)、島武意通り線道路改良事業費など歳入歳出予算の総額にそれぞれ9,362万円を追加し、28億1,173万3千円にするものです。

(原案可決)

第4回町議会臨時会 議会ニュース

平成30年第4回町議会臨時会が5月14日に招集され、同日閉会しました。

そのあらましについてお知らせします。

議案第1号

工事請負契約の締結について

平成30年度積丹町多茂木団地(2棟目)建設工事(建築主体工事)に係る工事請負契約の締結について議会の議決を求めるものです。

(原案可決)

議案第2号

積丹町一般会計補正予算(第2号)

国の平成30年度地方創生推進交付金事業について、去る4月1日付けで、総計画事業費6,382万円(交付金対象事業費6,280万円)、交付金要望額3,140万

円に対し、要望額どおり3,140万円の交付決定を得たことにより、地方創生推進交付金事業費など6,340万円を追加し、28億7,513万3千円にするものです。

(原案可決)

第13回

積丹ソーラン味覚祭り

6月24日(日)開催

【会場】 美国漁港広場 【時間】 9:00~20:10

商工会女性部による

限定300食 浜鍋

旬の食材がズラリ!

浜値朝市 積丹特産品市場

注目のステージアトラクションは

- ◆ YOSAKOI ソーランの舞
- ◆ 美中吹奏楽部演奏
- ◆ ウニ剥ぎコンテスト
- ◆ 練場音頭 ◆ ソーラン輪踊
- ◆ 歌謡ショー ◆ 花火大会
- ◆ 豊漁豊作餅まき ほか

● イベントに関するお問合わせ●

積丹ソーラン味覚祭り実行委員会 (役場商工観光課内)

☎ 44-3381 ※内容が一部変更になる場合があります。

園児も体験！

『ほふく救出訓練』

北後志消防組合積丹支署（仮谷支署長・署員17名）は、7月21日に行われる「全道消防救助技術訓練指導会」に向け、日々訓練に励んでいます。5月7日、びくに保育所の園児たちは、同支署の屋上で、ほふく避難訓練

を体験したほか、救出訓練を見学しました。

隊員たちは、園児に『ほふく』についての説明を行った後、ほふく前進で避難する体験を行いました。園児たちは、ハンカチを口と鼻にあて、おなかを付きながら上手に避難行動をとってました。また、避難する際に重要な『おはしも』についても学びました。



▲ほふく前進を体験

最後に、隊員たちが園児の前でほふく救出訓練を行いました。間近で見ると訓練の迫力に、園児は目を輝かせながら真剣にその様子を見ていました。大会に出場する隊員たちは、本番に向け、同支署の屋上で連日訓練を行っています。



で、ぜひご覧ください！

※『おはしも』

お：押さない
は：走らない
し：しゃべらない
も：戻らない

中学生に消防技術を伝える

また、5月14日には、美国中学校で避難訓練と警防訓練が行われました。

中学校の技術室で火災が発生したことを想定。庵校長が校内



▲消火器訓練のようす

放送で避難指示を行い、生徒と教員が駐車場へ避難しました。生徒たちが避難したのを確認した後、消防隊員による降下訓練と放水訓練を行いました。訓練では、消防隊員が要救助者を背中に背負い、中学校の屋上から降下し、要救助者を救出

しました。その後、校舎に向けて放水し、模擬火災訓練を行いました。

生徒からは「高いところから人を背負って下りてくるので、消防士はすごいと思った。」、また、教員からは「消防活動を直接見れて、生きた授業になった。」との声が聞かれました。

また、消火器訓練も行い、消火器の仕組みや消火の仕方などを消防隊員から教わり、普段あまり使うことのない消火器について学びました。

災害は忘れた頃に発生します。日々の備えが大切ですので、小さな事から準備をしましょう！



▲屋上からの降下訓練